

第8回日本時間栄養学会学術大会

テーマ「美味しさ・食欲と時間栄養」



日時：2021年8月27(金)、28日(土) 両日とも13:00～
会場：オンライン（Zoom形式）

体内時計に興味がある方、実践的な栄養学に興味がある方、気軽にオンライン大会に参加してみてください！

時間栄養学とは？ 体内時計を組み入れた栄養学です。私たちの身体は24時間リズムで変動しており、同じ食べ物でも「いつ」食べるかで、身体への影響は異なります。

教育講演：おいしさ研究の最前線

「美味しさ・食欲」について、日本を代表する気鋭の研究者に教えてもらっちゃいます!!

和田 有史 先生

8/27

認知心理学からみる
食・感覚・こころの関係

(立命館大学 食マネジメント学部・教授)

佐々木 努 先生

8/28

栄養シグナルが飲食欲求を調節する
生体メカニズム

(京都大学 大学院農学研究科・教授)

シンポジウム (8/27) 食欲と時計

大池 秀明 (農研機構) 「体内時計と食欲 ～これまでの知見のおさらい～」
原口 敦嗣 (早稲田大) 「腸内細菌叢改善が高脂肪食誘発性食欲促進に与える影響」
志内 哲也 (徳島大) 「臓器連関からみる摂食行動制御」
山崎 聖美 (医薬基盤・健康・栄養研) 「砂糖と高脂肪が肝臓時計に与える違い」

シンポジウム (8/28) 広がる『時間栄養』の世界

柴田 重信 (早稲田大) 「時間栄養学研究に関する最近の取り組み」
香川 靖雄 (女子栄養大) 「ヒトの味覚の時間栄養学と味覚センサー」
花井 章剛 (おいしい健康) 「COVID-19流行下における外出自粛が生活リズムに及ぼした影響 ～アプリ「食ベリズム」のライフログデータ解析～」
岡 有亮 (NTTドコモ) 「時間栄養学を活用したドコモの健康経営サービス「リボーンマジック」のご紹介」

☆一般演題発表（1日目 15:50～17:50 ショートプレゼン形式 ※ 今年から優秀発表賞あり！）

★ オンライン懇親会（1日目 18:00～）、時間栄養なんでも相談会（2日目 16:20～）も!!

<申し込み> 学会HPより申し込みをお願いいたします

<https://www.chrono-nutrition.jp/>

演題登録：8/13まで【代表発表者は学会員に限ります】

参加登録：8/20まで【会員と学生は無料、非会員は3,000円】

不明な点は、下記の大会専用Emailまでお問い合わせください。



大会長：大池 秀明（農研機構）

問い合わせ: oike-ch8@affrc.go.jp（大会専用）